

地質ニュース

昭和 39 年 7 月

第 119 号

1964

解 説	世界のウラン資源……………浜地忠男・1
	高島清 金・銀・鉛石を探る……………加藤甲壬・14 岸本文男
	垣見俊弘 地層はどのように褶曲しているか……………平山次郎・23
講 座	音波探査とは……………中条純輔・30
	地質調査事業の先覚者たち……………今井功・37
海外事情	台湾の旅日記から……………小谷良隆・44
	地学と切手……………堀内恵彦・29

編 集 地 質 調 査 所

表紙の写真

藍閃片岩（北米カリフォルニア州 Pacheco 峠）

藍閃石は Na に富む角閃石の一種で 単一ニコル下で無色～淡紫色～淡青色の多色性にあざやかである 写真は 北米太平洋沿岸のフランススカン層（ジュラ紀？）の藍閃石片岩で 少量のチタン石（粒状で浮き上がっている）を含む ローソン石を主とする部分がこれも細かく互層する このような 藍閃石・ローソン石・ヒスイなどの産出で特徴づけられる 藍閃変成作用（低温・高圧型）の研究は わが国の三波川変成帯とフランススカン層とで この10年間にめざましい発展をとげた（山）

日本光学万能投影器 単一ニコル（約40倍）

発 行 株式会社 実業公報社